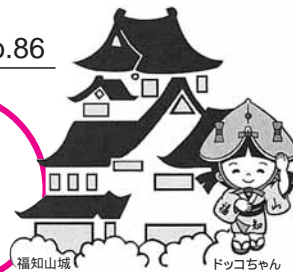


# 議会だより

2011

8



福知山城

ドッコちゃん



「よいしょ、よいしょ」☺ 7/18 雲原川で行われた、ドラム缶転がしタイムレース

## 主 な 内 容

6月定例会市議会の概要 .....	2
一般質問 .....	3～17
「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の凍結を求める決議 .....	18
由良川改修促進特別委員会活動報告	
常任委員会の審査報告 .....	19
議会日誌、編集後記 .....	20

# 6月定例会市議会の概要

6月定例会市議会は6月8日から28日までの21日間にわたって開かれた。

この議会には、「平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)」など6議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。人事議案は、公平委員1名の選任、教育委員1名の任命、人権擁護委員の候補者4名の推薦に同意するとともに農業委員会委員として4名を推薦した。

また、議員提案により、「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の「凍結」を求める決議が可決されたほか意見書1件を可決し、関係機関へ送付した。

## 補正予算

一般会計では、働く世代への大腸がん検診推進事業461万6千円、介護基盤緊急整備特別対策事業1億8720万円、住宅耐震改修事業270万円、小学校施設設備改修事業450万円、京都府税務共同化事業1250万円の総額2億1151万6千円を補正し、補正後の総額を398億1151万6千円とした。

## その他

- 工事請負契約の締結について(1件)
- (仮称)福知山市総合防災センター 建設工事に伴う電気設備工事
- 土地の取得について

## 損害賠償の額について

- (2件)
- 京都府地方税機構規約変更について

## 報告

- 平成22年度予算繰越計算書について
- その他の債権の放棄について(3件)

## 人事議案

- 公平委員  
若林滋樹さん(西中ノ町47歳)
- 教育委員  
瀬田眞澄さん(小倉68歳)

## 人権擁護委員

- 秦正音さん(下猪崎67歳)
- 芦田照男さん(土師町66歳)
- 高橋緑さん(長田段64歳)
- 衣川庄二さん(夜久野町下町59歳)

## 農業委員会委員

- 吉見茂久議員(三和町辻48歳)
- 藤田守議員(島田58歳)
- 大槻富美子議員(二箇下61歳)
- 荒木悦子さん(草山61歳)

## 請願(6月定例会上程分)の審査結果

採択となったもの

地方財政の充実・強化を求める請願  
請願者

自治労京都府本部 執行委員長 橋元信一さん  
平成24年度以降使用中学校教科書の採択期に当中学生に最も相応しい教科書の採択を求める『教育委員会への意見書』の提出を要望する請願  
請願者 大林八十彦さん、小林英夫さん

不採択となったもの

「市民交流プラザ(旧・北近畿の都センター)」。建設凍結に関する請願  
請願者 西山恵一さん

「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の是非を問う住民投票条例の制定を求める請願  
請願者 福知山市民党 代表 大槻昭則さん

## 国へ提出した意見書

- 地方財政の充実・強化を求める意見書  
平成23年6月28日付  
内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、経済産業大臣

宛

## 可決された決議

- 「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の「凍結」を求める決議 (18頁に決議文掲載と関連記事)

# 6月 定例会 一般質問



## 日本共産党市会議員団



塩見 卯太郎 議員

「(仮称)市民交流プラザ  
ふくちやま」の建設は凍  
結延長を

**問** 地域経済の動向も、市財政の見通しも悪化しており、東日本大震災の復興による国の財政運営も今後影響が考えられる。駅南や駅周辺の区画整理事業の赤字補填に15億円の投入、土地利用促進に9億円の投入など今後も投入が予想され、財政の見通しも定かではない。建設の凍結を延長する考えはないか。

**答** 市民検討会議で建設の要望もあり、有利な合併特例債が使えることを考えればこの時期し

か建設できないと判断した。

**問** いま急がれる学校耐震化事業や、住宅リフォーム助成事業など安心して暮らせる事業に予算を振り向けるべきではないか

**答** 中止すれば用地取得の費用の返還が必要となる。(市長公室)

汚職事件の総括と公表はいつになるのか

**問** 議会は市に提言したが、市の総括と公表はいつになるか。

**答** 今年に入って、下水道使用料の賦課漏れなど種々の問題もあり、まだ総括ができていない。9月までにまとめていきたい。(総務・職員課)

土地開発公社の粉飾決算の総括と報告は

**問** 土地開発公社の粉飾決算に関わる議会の特別委員会の提言

について市の総括と報告はいつになるのか。また塩付け土地と長期借入金はどれだけか。

**答** 提言に沿って取組方向を議会に報告した。その後、役員体制の変更や低レートの借入金の改善などに着手し、今後の方向は外部委員会で検討をお願いしている。5年以上の保有地は89件あり、長期借入金は58億7325万円である。(財務・財政課)

由良川改修促進と堤内地の内水対策は

**問** 由良川水系河川整備計画に位置付けられていない筈巻、下天津地区など9地域を計画に位置付けて早期に事業着手を。

**答** 次回の由良川流域懇談会で原案が示される予定であり、市として早期事業を要望していく。

**問** 5月の大雨で池部地区の府道が冠水して、地域が孤立した。今後、ポンプアップなど孤立解消にむけた抜本的な施策を。

**答** 国土交通省所管の排水ポンプ車3台の利用を国と協議する。(土木建設・都市整備課)



府道綾部福知山線が池部地内で冠水 2011 5 30

## 日本共産党市会議員団



吉見 純男 議員

遅々として進まない木造住宅の耐震化促進を

**問** 福知山市建築物耐震改修促進計画によると、平成27年度までに市内の建築物の耐震化率を国・府の目標である90%に近付けるよう取り組むとなっているが到達点と課題、対策は。

**答** 本市の木造住宅総数は平成



15年度住宅土地統計調査によると2万278戸であり、耐震診断の必要がある昭和55年以前に建てられた住宅は、1万139戸となつてゐる。その内、平成18年度から取り組んでゐる市の補助制度で、耐震診断を受けた戸数は平成22年度末の合計で83戸である。平成21年度から取り組んでゐる耐震改修事業戸数は平成22年度末で4戸である。課題は耐震の実施率が低いことである。今後、実施率を高める方策を検討したい。

**問** 診断も改修も遅々として進んでいない。この際、各戸に配布されている地震ハザードマップ危険度7の地域から自治会単位で簡易耐震診断を行い、減免制度や部分改修など、診断士派遣事業・改修事業の拡充を図り、住宅耐震化を進める必要があるが。

**答** 危険度の高い地域に限らず市内全域での耐震化を考えていきたい。耐震改修事業は市が30万円上乘せして自己負担の軽減を図つてゐる。(土木建設・建築課)

**「住宅リフォーム助成制度」創設を**

**問** 地元中小業者の仕事起こし

で地域経済の活性化を図るために、国の「社会資本整備総合交付金」を活用した「住宅リフォーム助成制度」創設の検討状況は。

**答** 京都府への問い合わせや指導を助案しても、福知山市で「交付金」を一般的な個人住宅のリフォームに利用することは困難であると判断してゐる。(農林商工・商工振興課)

**遷喬小学校の省令で定められた施設整備を**



図工室がわりの部屋(工具もクラス全員で使えない)

**問** 文部科学省令である「小学校設置基準」では、図工や音楽などの特別教室は「備えるもの

とする」となつてゐる。遷喬小学校は、これらの特別教室が現在なく、一般教室やホールで図工や音楽の授業が行われている。児童数も今後、増え続ける実態があるなか、小学校の設置基準に見合った施設整備を進めることは、市の最低限の責務であるが考え方はどうか。

**答** 今後、文部科学省の制度変更や児童数の推移を見極めながら適宜、整備を進めていきたい。(教委・教育総務課)

**日本共産党市会議員団**



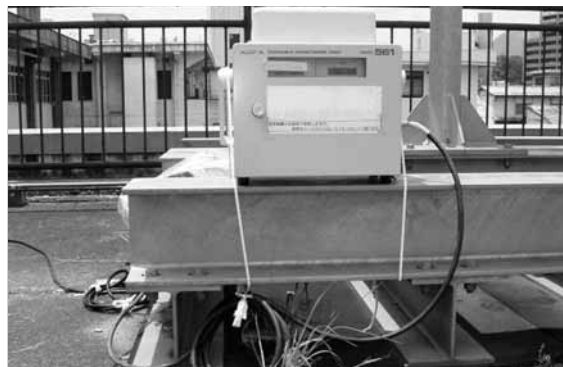
大槻富美子 議員

**市防災計画に原発対策を**

**問** 市内でも高浜原発から30km圏内に位置する地域がある。市の防災計画に原発対策を盛り込むべきだ。30km圏地域での放射線測定器の配備は。

**答** 防災計画の見直しを検討しなければならぬ。大江支所などへの配備も必要性を検討中である。

ある。



(総務部・総務課)

府振興局福知山総合庁舎屋上の放射線測定器

**災害時の安否確認は**

**問** 避難困難者の登録名簿を他団体にも早く渡し、面的な取り組みで高齢者、障がい者などの安否確認を行うべきだ。また、新たな対象者への働きかけは。

**答** データ共有で安全に避難できるよう9月末を目途に整理している。未登録の対象者には地域からも声をかけてほしい。(福祉保健・子育て支援課)

**コミュニティ拠点を守れ**

**問** 大江町での公民館は60年の歴史を持ちコミュニティの拠点

だ。防災支部も設置され幾たびもの水害と闘ってきた経緯もある。地域の絆を守るためにも施設維持は市の負担で行うべきだ。また活動補助金の増額を。

【答】旧市内ではすべて地元管理をしており、公平の観点から施設維持は地元でお願いしたい。活動補助増額は、今後の検討課題としたい。(教委・中央公民館)

治水対策は住民の意向を大切に

【問】治水事業は国土交通省管轄だ。しかし、市にも住民を災害から守る責任がある。有路下地区住民に意見を求めながらも、その意向とは全く異なる計画提示がなされ納得できない。また、提示された嵩上げ計画では住家は守れない。見解は。

【答】国土交通省と地元の意見交換を重ね、地元の合意に基づく治水対策を進めるよう要請している。台風23号の水位は、計画高水位(28水Ⅱ昭和28年水害時水位)を上回っている。嵩上げ計画は28水対応であり、それ以上の治水対策は困難。嵩上げ方法は住民生活に支障がないよう国土交通省に要望する。

(土木建設・都市整備課)

農作物被害の補償を

【問】5月末の台風2号は由良川筋の農家に大きな爪あとを残した。お茶、米、えんどう、菊など大きな被害だ。被害への支援の検討は。

【答】現在、今後の対策について府とも協議し調整している。(農林商工・農林振興課)

日本共産党市会議員団



中島 英俊 議員

学校統廃合問題

【問】6月8日の精華小学校での説明会の資料に、「夜久野の場合、3小学校を同時に統合することが望ましく、施設一体型の小中一貫教育にしたい」と書いてあるが、いつの教育委員会で決められたのか。

【答】6月8日に教育委員会協議会をもった。

【問】「施設一体型」とは、「小中学校が同じ校舎内」と図示し

て説明してあるが、「中学校に近接したところに建てて」とも言っている。どちらなのか。

【答】中学校の校舎を有効に活用しながら、そこだけでは施設が足りない場合には、増設のような方向も含めて考えている。

【問】昨日の工議員の一般質問に教育長は統合の具体的な行程を聞かれ、「そこまでは言っていない」と答えた。しかし「裏にあるなら表に出して」と言われ、「ただ今検討中だが」と言いながら「平成25年4月開校を目標にしている」と表明した。教育者のトップがこんな対応でいいのか。裏と表を適当に言って、そこまで言っていないこと、検討中のことを公式の場で発表してしまつて認められる教育委員会なのか。

【答】うそを申し上げた覚えはない。(教委・教育総務課)

鳥獣被害対策の強化

【問】昨年度の鹿と猪の駆除数と捕獲数の合計は。

【答】鹿は2862頭、猪は1597頭。

【問】今年、春の生息調査頭数は。

【答】4月実施で鹿2952頭。注目されている京都府下で

初めての専任の実施隊の取組状況は。

【答】猟友会から推薦された8人で編成して週4回、日常的かつ計画的に安全な駆除を、7月からの開始に向け調整中である。

【問】防護柵の本年度の取り組みは。

【答】要望は39件あり採択は35件で総延長は40km余り、事業費は2900万円、その内補助金は1880万円である。(農林商工・林業振興課)

山と木材を生かすため

【問】昨年12月議会で公共建築物には木材利用促進を、という法律を紹介したが検討は進んでいるのか。

【答】1月に関連部署を集め府から来てもらい説明会を開催した。3月には府が「基本方針」で幅広く目標を示した。市もさらに必要と考えている。

【問】福知山に2万1000haもある杉・桧の間伐材を捨てずに生かすエネルギー政策を。

【答】3月11日の福島原発の事故以来、安全で再生可能な自然エネルギーへと考え方の変化がある。間伐材利用は、地域の関連事業の活性化にも大いにつなが



る。木質燃料の有効性については、PRを考えている。

(農林商工・林業振興課)

日本共産党市会議員団



足立 進 議員

子どもの医療費無料化を  
中学校卒業まで

**問** 昨年の9月から対象が小学3年生から6年生まで延長となったが、本市の持ち出し額はいくらになったのか。また、対象年齢の引き上げて保護者の受け止めはどうなっているのか。助成対象を中学校卒業まで延長することを提案するが、考え方はどうか。

**答** 昨年11月からの5カ月間と昨年の同期間での比較では、約462万円の増額。医療費が安くなり、安心して子育てができると聞いている。一定の効果があったのではないかと。昨年に制度を変えたところなので、今後、国や府の支援策、あるいは社会

経済の動向や、財政状況などを見かねがみて、慎重に判断する必要がある。(福祉保健・子育て支援課)

市立保育園の民営化と今後の保育行政

**問** 民営化は、平成18年9月に第4次行政改革基本方針(案)に上がり、その中で、今年度は修斉保育園、来年は下六人部保育園での民営化を進めるとなっている。保護者への説明会の状況は。また、これまでの地域とのつながりなど、説明会での意見・要望はどのようなことが出ているのか。

**答** 説明会はどちらも、昨年の3月に開催している。「地域とのつながりを大切にして欲しい」「保育園の場所をあまり変えずに、園舎の改築や駐車場整備をしてほしい」などの地元の思いを聞いている。

**問** 2つの保育園は昭和50年と昭和53年から使われており、老朽化している。保育園内で、園児の事故などはないのか。

**答** 修斉保育園では、経年劣化で破損の恐れがある園舎の軒先部分を撤去した。また、下六人部保育園では、劣化したスノコを安全なものに交換した。老朽

化が原因となる事故は起きていない。しかし、夏季にエアコンが故障したり、設定温度まで下がらないなどの故障が起きており、その都度、修繕をしている。(福祉保健・子育て支援課)

府道福知山山南線(山崎  
地内)の安全対策は



道路が狭くなった箇所(山崎地内)

**問** 昨年度、十三丘地区と大門地区間の工事が終り、2車線幅の道路が完成し、スムーズに走れるようになりスピードも出ている。山崎地内での交通事故の実態はどうなっているのか。また、住民からの道路改良の要望はどうか。管理者である京都府の対応はどうなっているのか。

**答** 当路線の整備には、山崎地

内を含め、国道429号の交差点部までの区間について、ルート計画も含め、詳細な検討が必要と京都府より聞いている。(土木建設・都市整備課)

公明党市会議員団



大谷 洋介 議員

東日本大震災を受けた本市の危機管理について

**問** 災害発生時の住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成し、被災状況を入力することで罹災証明書の発行から支援金や義援金の交付、救護物資の管理、仮設住宅の入退去など一元的に管理できる被災者支援システムの導入を。

**答** 災害時になくしてはならないシステムなので導入に向け検討していきたい。(総務・総務課)

**問** 公立幼小中学校の100%耐震化に向けた現状は。

**答** 平成23年3月末で62・8%、全国平均は83%である。

**問** 公明党の主張で、国において平成23年度第1次補正予算に公立学校の耐震予算340億円、1200棟分が盛り込まれたが、夏季休暇後には66・7%としたい。全国平均は86%である。

**答** この全国平均との違いの理由と、100%耐震化の時期は

**問** 学校数が多く耐震診断が遅れているが、平成26年度末には全校耐震補強を達成する。

(教委・教育総務課)

**（仮称）市民交流プラザの建設の是非について**

**問** 今回の市議会議員選挙で、京都新聞社のアンケートに新議員26名のうち15人が建設反対を表明し当選した。民意の反映は

**答** 中心市街地活性化を象徴する建物として、勉強会で理解を求めたい。

(市長公室)

**問** 財政計画は示せるか。

**答** 東日本大震災を受け、国の財政状況は刻一刻と変化しており、本市も逐次、公開していく

**問** 本市庁舎は、昭和51年に27億円をかけて新築されたが、35年経過した現在、5年以内に建て替えの話が出ないか。

**答** 長寿命化に向けた補強を検討していく。

(財務・財政課)



日本医療マネジメント学会ポスターから

**地域医療の担い手・市民病院の新しい方向性について**

**問** 「地域で守る患者中心の医療（チーム医療と医療連携）」とは。

**答** 地域医療の最大のポイントとして、今回の日本医療マネジメント学会のテーマに挙げた。

**問** 国内最大級の医師向けコミュニティサイト「メドピア」の表紙に、当病院を含めた6研修指定病院が紹介されているが

**答** 研修機関の教育力が認められた結果で、率直に嬉しい。

**問** 平成22年度決算見通しは。

**答** 念願の黒字転換となる見通しである。

(市民病院・総務課)

公明党市会議員団



吉見 茂久 議員

**民生児童委員を支える仕組みについて**

**問** 日々の多岐にわたる活動内容についての負担軽減策は。

**答** 民生児童委員さんをしっかりと下支えし、活動しやすい状況をつくっていききたい。

**問** 今後の担い手不足に対する考えは。

**答** 65歳までという年齢制限があるため、対象となる方がおられないといったこともお聞きしている。次期改選までに協議、検討する必要があるのではと考えている。

(福祉保健・子育て支援課)

**介護支援ボランティア制度の導入について**

**問** 昨年度に介護保険料の軽減策として導入されたが、現在の進展状況は。

**答** この制度は高齢者が介護福

祉施設などで資格がなくてもできる介護サポーター活動を行うとポイントが給付され、活動実績に応じて介護保険料の軽減につながる制度である。平成22年度末でサポーター登録者が104人、サポーター活動を行った方が98人である。

(福祉保健・高齢者福祉課)

有害鳥獣対策について

**問** サルによる被害への対策は。

**答** 京都府がサルの生息調査を実施したところ、三和町30頭、三保6頭などが確認されている。調査結果を基本に、今年度、サルの保護計画が策定される。当面、駆除隊による銃、猟犬、自治会に支給した爆竹で追い払いをしていただいている。

(農林商工・林業振興課)

若者の雇用対策ドリーム・マッチプロジェクトについて

**問** 卒業する学生に対しての本市の雇用対策は。

**答** 福知山市における雇用施策として基金を創設し、財源を確保しつつ、ふるさと就職おうえん事業、再就職者おうえんスキ





足立 伸一 議員

公明党市会議員団

ルアップ事業を展開している。さらに今年度、試行雇用おうえん助成金交付事業、起業おうえん助成金交付事業を創設した。ハローワーク、ジョブパーク、長田野工業センターなど8団体と連携し、雇用促進を行っている。

**問** このプロジェクトは、若者の雇用確保と地元企業の活性化のために中小企業と学生及び卒業後3年間未就職者をつなぐマッチング事業であり、人材を求めている中小企業と就職活動中の学生の出会いの機会を提供することから、本市においても積極的な推進を要望したいが。

**答** 福知山市内の企業にとって全国にPRして人材確保を図るチャンスともなり、学生の就職活動に利便性があることから、本市として商工会議所とも連携し、制度を周知していきたい。

(農林商工・商工振興課)

放置森林対策について

**問** 森林は豊富なバイオ資源となる反面、放置森林は甚大な災害の原因になる。また鳥獣の棲かとしての生態的側面も持つ。多面的対策とともに、残材活用のバイオ事業に着手し、総合戦略を考えるべき。また、木質系廃棄物の処理場への搬入量と処理コストは。

**答** 今年度、地球温暖化対策推進計画の策定を予定。そこでバイオ活用を検討する。採算性が民間参入のネックだが、当市の社会的、自然的条件から間伐材利用のバイオ事業の推進は必要で地域活性化にも繋がる。放置森林の災害への認識はあり、原因を除くためには間伐材利用促進や林業再生が必要で間伐助成制度活用もお願いしたい。人と野生動物を棲み分ける里山のモデル事業なども実施している。木質系廃棄物は燃やすゴミ全体でデータ管理しており、木質系分の処理量は不明。手数料はトナリ2万円となっている。

(農林商工・農林管理課、林業振興課、市民人権環境・環境政策室)

新公会計制度の導入について

**問** 財務諸表4表の平成21年度版は公表されたが、平成22年度版の公表はいつか。導入の目的と今後の活用方針は。

**答** 今年の9月議会の財政健全化判断比率の報告後に公表する予定。専門用語も多く、4表は相関しており補足説明で、分りやすい工夫をしたい。制度導入の目的は、財政の補完資料として、現行会計制度では見えない資産や負担などの財務情報を提供することであり、健全化に役立てたい。

(財務・財政課)

成年後見制度に基づく首長申し立てについて

**問** 新しい福祉は共助の面が重要。支え手増加のため、首長申し立て時の後見人確保、養成などの対策は。

**答** 一人暮らしや認知症の増加で需要は多くなる。市民後見人も必要となる。人材確保にむけた支援体制は今後、国や他市の動向を見ながら検討する。

(福祉保健・高齢者福祉課)

小学校の統廃合について

**問** 夜久野での地元説明会の模様と教育委員会の判断は。

**答** 計画は学校教育プログラムに沿い保護者と地域住民の意向を大切に推進する。夜久野では長年の取り組みを背景に地元各層に強い統合への思いがあり、要望書も提出されている。各校區での説明会では、統合し施設一体型の小中一貫教育へ意見集約がされた。合意形成はあると判断した。拙速とは思っていない。

(教委・教育総務課)

福知山未来の会



田淵 裕二 議員

中心市街地活性化について

**問** 中心市街地活性化基本計画と商業振興の取り組みについて。

**答** 人・物・情報が集積した利便性の高い中心市街地で、城下町の資源を生かした城周辺とま



ちなな観光の促進、安全安心を基本に、すべての人が暮らしやすい生活空間創りを目標に「行ってみたい、暮らしてみたい街づくり」を目指して、4プロジェクトを計画している。商業振興については地域密着型の魅力ある商業の充実を図り、商店街が中心となり、まちなみとまち家活用、まちなかおもてなし事業・商店街リニューアルや空き店舗活用のチャレンジ事業など、商業の活性化のために26事業に取り組んでいる。

(農林商工・商工振興課)

**(仮称)市民交流プラザ  
ふくちやまについて**

**問** (仮称)市民交流プラザふくちやまの建設促進について。

**答** 平成26年度内に完成を目指している。公募した市民検討会議において建設の是非から見直す中で、先進地視察も含め、慎重かつ熱心に検討を重ねられた結果、「早期に建設に着手すべし」との答申を受け、本年2月に(仮称)市民交流プラザふくちやまの基本計画を発表した。4階建て、図書館と中央公民館などを移設し、経費低減を図った運営を目指す。3月議会では

基本設計予算が承認され、建設計画を進めている。関連事業として、平成27年には耐震改修を行った市民会館の1階2階に中央保健福祉センターを開設し、4階ホール・会議室などの改修を行う。

**問** 合併後5年が経過し、建設計画が遅れているが、影響はないか。また、その予想は。

**答** 非常に有利な合併特例債は平成27年度までに事業完成するという期限があり、これ以上の中断や遅延は、用地取得に関わる合併特例債17億円の一括返還が求められることとなり、大きな財政負担となる。また、3月に内閣総理大臣の認定を受けた中心市街地活性化基本計画も、(仮称)市民交流プラザふくちやまが中核施設の位置づけであり、建設の遅れや中断は認定金の削減といった事態が予想されるため、今後の実施計画を確実に進めていかなければならない。

(市長公室)

**少子化に伴う校区・通学区の編成について**

**問** 来年、惇明小学校から7名の卒業生が、同級生と別れて桃

映中学校へ進学する。南陵中学校への一体進学を保護者は望んでいるが、校区編成は可能か。

**答** 卒業生が2つ以上の中学校に分かれて進学するのは市内では惇明小学校だけであり、通学区の変更は課題もあるが、保護者や地域での意見交換の結果は考慮して検討しなければならぬと考えている。十分な意思疎通を行い判断したい。

(教委 学校教育課)

**福知山未来の会**



谷垣 和夫 議員

**福知山大堤防について**

**問** 敷設以来83年が経過した大堤防のコンクリートの耐用年数は。また埋設してある鋼矢板はいかなるものでその耐用年数は。

**答** コンクリートの耐用年数は約50年だが、平成21年のボーリング調査では一定の強度と安全性が確保されている。鋼矢板はドイツ製ラルゼン型と呼ばれ、



今年5月30日増水時の由良川と大堤防道(菱屋・下柳町付近)

長さ4・64mのものが2600枚、延長1041m。のちに追加で長さ6mのものが1300枚、延長610mにわたり埋設されている。土中なので耐久性は半永久的と聞いている。

**問** 民家に湧水している箇所もあるが土堤部分の安全性は。

**答** 湧水については堤防との関連を今後注意深く見守りたい。平成18年までの調査で土堤部分は全長27・4kmの内6・4km(23・4%)部分で堤防強化が必要とのことであるが、これも国交省の見解では一定の強度と安全性が確保されていることである。(土木建設・都市整備課)

市街地の内水対策は

市街地における内水対策としての地下貯留槽設置の進捗状況と貯水能力は。

中部排水区が平成21年に完成しており、7300m<sup>3</sup>、弘法川第三排水区の3カ所のうち2カ所がすでに完成し、残りも平成24年度の完成予定で3カ所あわせて、5000m<sup>3</sup>。すべて完成すれば、時間雨量で55mmまで対応できる。(下水道・下水道維持課)

「家庭用雨水貯留槽設置促進事業」の概要と、補助金の交付対象者の範囲は。

家庭での雨水対策、また節水対策として、約200ℓのタンクを設置した市街化区域内の戸建ての家庭に半額を補助(上限3万円)するもので、今年度は20戸。今後については今年度の様子をみて決めたい。

(下水道・下水道管理課)

福知山マラソンの参加料値上げと今後の展望は

今年の参加料が6000円になったが、委託業者の見直しなどで経費節減はできないか。大都市で大会が新たに開催されるが福知山マラソンへの影響は。

福知山未来の会



森下 賢司 議員

㈱アールビーズについては企画から運営までトータルサポートをお願いしており、引き続き委託したい。大会のライバルが増えるが、手作り、おもてなしの心を持った温かい大会を目指したい。(企画政策・スポーツ振興課)

三段池公園に全天候型公認陸上競技場の整備を

本市には全天候型陸上競技場が存在しない。青少年の健全育成、スポーツ観光施策の推進、生涯スポーツ観光施策の推進、生涯スポーツの進展などさまざまな効果が期待できる第3種全天候型公認陸上競技場の整備を望みたいが市の考えは。

スポーツ施設は三段池公園に全部集めたほうがよいと思っている。公認競技場も何とかなしたいと考えているが、適正化法の問題もあり、すぐには

難しい状況である。

今後具体的に青写真を描いたり、策定等の考えはあるのか。

適正化法にどう対処するか、本当にグラウンド転用が不可能なのか回答も待っており研究中国なので、引き続き前向きに検討していきたい。

補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律

(企画政策・スポーツ振興課 土木建設・都市計画課)

庵我地域に排水ポンプ施設の設置を

府道舞鶴福知山線は、庵我地域を貫く唯一の生活道路・避難路である。特に池部地区では台風や大雨の度に、内水により府道が冠水して交通が寸断され、安井・善巻地区は孤立してしまふ。緊急時の住民の安全確保のために、庵我地域に内水処理のできる排水ポンプ施設の設置を望みたいが、市の考えは。

国土交通省所有の排水ポンプ車3台が猪崎の車庫に配備されている。緊急時には、自治体からの要請を受け、近畿地方整備局の決裁を受けた上で出動させることになっている。稼働条件など国土交通省との調整も必要だが、緊急時には有効活用し

ていきたい。

今後、設置に向けて具体的に検討していく考えはあるのか。

市としては、今後さまざまな方面から内水対策を検討していきたい。国土交通省の方針としては排水ポンプ車の有効活用ということなので、緊急時にはスムーズな出動態勢がとれるように要請していきたい。

(土木建設・都市整備課)



台風2号の内水被害による冠水で府道が寸断された池部地区

平成会



谷口 守 議員



第21回市議選を終えて

問 今回から1選挙区、定数減で実施された結果は、多くのベテラン議員の退任で大きく世代交代が進み、新しい感覚で市政を見ていくことに対して市民の期待が大きいものと思う。

しかし、改革を進めるには、市政の継続性や大局的な判断も求められる。一人ひとりの議員の責任も大変重い。選挙結果を見て、市長の率直な感想を伺う。

答 合併後、定数確定後の選挙で市民の注目も深いと思っていたが、結果として投票率が低かったことは残念であった。しかし、激戦を経て負託を受けられた皆様には、これまで以上に高い期待を市民がしていると確信している。地方分権改革により、これまで以上に地方議会が重要になってくると思う。新人議員を迎え、私自身も初心を忘れずに市民のために全力を尽くす決意を新たにしたい。(市長公室)

「e-ふくちやま」事業について

問 地デジ化まで一カ月後となったが現状は。また、現在の対

象戸数と加入者数、使用料の収納状況は。

答 地デジ化は、現在各戸への引き込み工事をほぼ完了した。切替工事中で順調にいけば6月末には完了し、支障ないものと考えている。ただ、最近に申し込みを受けたものについては、申請手続きなどで移行日に間に合わない場合もある。現在の対象戸数は5000所帯を見込んでいる。加入金は1611件338万3100円、使用料は22年度の実績で1547件927万2330円。

問 4月7日、三和町での家屋火災で、近接の幹線光ケーブルが焼損した。このため広域でテレビが映らない、インターネットが使用できない状況が発生した。このような場合の連絡方法は。また、復旧に相当時間がかかったが、今後の対応方針は。

答 故障時は、自治会長様から連絡をお願いしたい。状況により広域になる場合には、防災無線や市の広報車などにより周知したい。復旧については、関電N T Tとの連携により早期復旧に努めたい。(企画政策・情報推進課)

下水道事業について

問 早期に着手した旧市内の下水道整備事業は、雨水との合流式下水道のため、緊急改善整備工事が行われているが総事業費は。また、現在の進捗状況は。

答 総事業費は16億4000万円、6月から合流汚水を貯留できる状況となった。

問 下水道事業は公営企業化に向けて進められているが、農業集落排水事業は、どのような位置づけか。

答 公営企業化には、農業集落排水事業は含めない。(下水道・下水道管理課)

平成 議会



藤田 守 議員

災害に強いまちづくり

問 福知山市は、特に地震・台風・ゲリラ豪雨などの土砂災害が焦点である。東日本大震災などの教訓も踏まえ防災対策を問う。

答 府などと連携を図り、原発も含め防災計画を見直す。今年度進める家庭用雨水貯水槽の設置促進事業は、市街化区域に住む市民が対象。1住宅につき1基のみ補助をする。また、消防・自衛隊・警察などと連携強化に努めたい。さらに自衛隊OBとの協定は心強い。(仮称)総合防災センターは、消防本部・消防署の機能や消防指令システム、市民の防災研修機能をもたせる。緊急ヘリポート設置や物品の備蓄などを合わせて災害対策機能の強化が図れる。防災行政無線の設置など各種伝達手段により情報伝達体制の強化を、また、早めの発動による避難体制の確保を図る。(総務・総務課 消防本部、下水道・下水道管理課)

中六人部地域の要望事項

問 少子高齢化の進む田舎の聞こえ大切。目を向け光を当て、弱者の立場で、地区では解決できない大きな課題について問う。

答 市道の整備・東橋の架け替え、田野川整備未施工個所の改修は、用地取得などで困難。パランスを図りながら調査したい。

(土木建設・土木課) 市街化調整区域の規制緩和は、



国の動向と先を見据えたより一層の規制緩和を。

(土木建設・都市計画課)

へき地保育園の改築は、地域の声を聞きながら今後検討する。

(福祉保健・子育て支援課)

自主運行バスは、逐次改善を実施。更に利便性の向上を図る。

(市民人権環境・生活交通課)



台風2号による土砂崩れの現場(大内山田)

やすらぎのまちづくり

問 高齢化率が25%を超えた本市は高齢者・障害者福祉事業が重要な課題であり、対策を問う。また、施設に向き現場の声を良く聞いて施策に反映して欲しい。

答 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直し、平成24年度から3力年間の介護保険料、施設整備方針を策定。外出支援助成事業は、買い物にも利用で

きるよう拡充した。介護支援サポーター活動事業は、活動場所を在宅にも拡充した。第3期障害福祉計画は平成24年度から3力年の計画である。抽出した障害者手帳所持者にアンケート調査し福祉サービス事業所や各種施設からヒアリングを予定している。調査結果や第2期計画の評価をして次期計画につなげたい。(福祉保健・高齢者福祉課 社会福祉課)

平成 会



高宮 辰郎 議員

東日本大震災をふまえて

問 防災拠点の中核である市庁舎の耐震化は。

答 市庁舎の耐震診断は平成21年度に実施した。診断結果は、1階部分は比較的耐震壁が多くあるが、2階以上では耐震壁が少なく、すべての階で耐震性能を満たしていないので耐震改修が必要との結果であった。耐震診断で提示された補強工法を基

本として、設計・工事の施工を福知山市建築物耐震改修促進計画に定める平成27年度を目標に具体化を図りたい。(総務・総務課)

問 由良川下流部緊急水防事業などの河川改修に及ぼす影響は。

答 平成23年度に勅使地区及び安井地区において築堤工事が予定されている。下流部では、宮川上流部の用地買収が進められ、上野川樋門関連工事や、大江美河橋の竣工に伴う築堤閉め切り工事や、河守・河東地区、公庄地区、千原、尾藤・常津地区の築堤工事、北有路地区の河川付け替え工事の着手または計画、南有路地区では、大雲橋上流側の輪中堤の閉め切りが予定されている。予算執行の5%留保による由良川改修への影響は、年度当初でもあり現在のところ不明であると国土交通省が言っている。予算の全額執行による河川改修促進を国土交通省に強く要望していきたい。

(土木建設・都市整備課)



防災拠点の要となる市庁舎

(仮称)市民交流プラザふくちやまの建設について

問 平成23年3月議会で、基本・実施設計に7710万円が予算化された。当初計画より20億円削減し、28億円規模で平成24年度着工となっている。昨年度も財政シミュレーションを提示されたが、改めて、新議員や市民に対しても納得のいく説明をするべきではないか。

答 (仮称)市民交流プラザふくちやまは平成21年度に市民検討会議を設置し、「是」「非」からの幅広い議論を経て検討結果報告をいただき、パブリックコメントなども聞く中で、平成23年2月にその機能を絞り込み基本計画を策定した。市民には中長期的な視点に立って財源の確保の見通しや、交付税措置の状況などについて、中長期的な財政見通しを毎年策定し、そのつど確認・公表を行いながら説明していきたい。(市長公室)

問 万一、(仮称)市民交流プラザふくちやま建設工事が議会で否決された場合、3月28日に内閣総理大臣に認定された福知山市中心市街地活性化基本計画は頓挫するのか。

答 基本計画の主要事業である

(仮称)市民交流プラザふくちやま建設工事が計画変更などで認定状況を維持できなければ、認定取り消しとなる。

(農林商工・商工振興課)

政 和 会



稲垣 司郎 議員

学校教育改革推進プログラムについて

問 学校教育審議会答申の意味するところは何か。

答 今日の急激な社会の変化と少子化に対応する本市の今後の教育と、学校の適正規模・適正配置のあり方についてである。

問 答申の精神を生かしたプログラムの重点項目は何か。

答 複式学級を解消し、教育環境を整えることである。

問 名実ともに教育のまちを実現するには、プログラムの早期実現が肝要と思うが。

答 本市の状況からみて、早急に教育改革と教育環境の改善が必要と考える。

問 市教委・市長部局を含めプログラムを推進する専門プロジェクトチームが必要では。

答 これまでから市長部局と連携して業務を進めてきた。今後については統廃合後の地域づくりもあるので、地域と議論を深めることが望ましいと考えており、このなかで連携を進めたい。

問 市立学校再編の前期計画で「要望のある地域の学校を早期に進めることを基本とする」とあるが、どういう意味か。

答 複式学級の解消についての理解を地域で共有され、その意思を市と市教委に表明されることである。

問 現在までに、市長のもとに地域から要望が届いているか。

答 「明日の夜久野教育を考える会」から平成21年2月10日に市長と教育委員長に届いている。その会は、夜久野町連合自治会を中心に、小中学校PTA役員、保育園保護者会など地域にある17団体約70人で構成されている夜久野地域を代表する組織であると認識している。

内容は「3小学校を統合し、夜久野中学校に近接する位置に校舎を建て、小中一貫教育を実施する。3校の跡地については地元自治会と協議して利用促進

を図る」というものである。

問 市長、市教委はそれをどのように受け止められたか。

答 統廃合で小中一貫校の実施の要望は、本市教委が作成したプログラムと真に近い考えであると理解した。

問 夜久野地域で生の声を聞かれてどのような感触を得たか。

答 各小学校区で開催された学校教育問題説明会(6月8日、10日)で、聞かせていただいた。特に保護者からは、3校統合と一貫教育への強い要望があった。

問 市が進めようとしているプログラムの工程表はあるのか。

答 夜久野地域の要望はできるだけ早期に実現したい。

問 できるだけ早急にといつた答弁では抽象的すぎる。もう少し踏み込んだ具体的な答弁を。

答 平成25年4月開校を目標にして、今後の作業を進めたい。

問 平成25年4月開校という答弁があったが、市長の思いは。

答 財政的には厳しい状況にあるが、市教委の決断には連携しながら取り組みを進めるように指示したいと思っている。

(教委・教育総務課)

福 政 会



稲葉 民俊 議員

平成23年度の施政方針について

問 今回の市議会議員選挙と新聞社の議員アンケート結果に対する市長の思いは。

答 市の置かれている立場と今後のあるべき姿を考えていただき、市民の思いを十分に斟酌し、適切な判断をお願いしたい。

(市長公室)

市が管轄する道路の管理状況について

問 市道の巡回パトロールは。

答 日常点検の体制はとっていないが、職員の現場移動時での発見や自治会、市民の通報に合わせ、道路損傷部分の修繕をしている。

問 街路樹の管理・維持体制は。

答 基本的に年一回の剪定、草刈りをしている。費用は400



0万円である。(土木建設・土木課)

図書館について

図書館の利用状況は。

昨年8月の利用調査結果では、一日あたり全体で740名

利用され、年々多くなっている。

日新分館としての機能と他の分館との格差は。

図書館の中で、日新分館の

実際の運営は公民館条例に基づき運営であり、中央館や他の分館とは異なっている。

図書館条例の改正は。

所要の条例改正を経て、日新地域の公民館図書室として運営するのが望ましい。

(教委・図書館)

防災・耐震化について

広域避難施設、地区避難施設への耐震強化の進行状況は。

広域避難施設が52カ所耐震化率は58・4%である。地区

避難施設が33カ所の内、市が所管する避難施設が13カ所の耐震化率は45・3%である。

避難施設への収容者数と災害資機材整備状況は。

一人当たり2㎡で施設の床面積から収容者は7万3499

名である。毛布・シート・タオル・ライトなどがあり、食料・飲料水も整備したい。

避難施設の収容者数に対する備蓄品の数が合わないが。

何がどれくらい必要か検討し、充実させていく。

(総務・総務課)



各地区に設置されている防災備蓄倉庫

福 政 会



芦田 眞弘 議員

こんにちは赤ちゃん事業について

事業の開始時期と4カ月ま

でという乳児の線引きについての考え方は。

9月からの実施で準備をしており、4月生まれの乳児は5カ月目となるが、訪問をしていく予定である。以降は都度訪問をしていきたい。

訪問をお世話になる民生児童委員への負担軽減の考え方は。

訪問にあたっては市の職員が中心となり、民生児童委員の方はサポート役として一定の負担軽減を図っていきたい。また、訪問に必要な資料作成や連絡調整も市で行っていく。

(福祉保健・子育て支援課)

民生児童委員連盟について

現在の組織体制はいつから構成されたものなのか。

10地区から構成されているもので昭和50年代に改変されたものである。

地区協議会の中には現行の中学校区と合致していない地区があるが、問題意識は。

時代の変遷と共に中学校区や地域事情が変化するなか、委員相互の情報交換、地域の課題認識の共有が難しいなどの意見を聞いている。民生児童委員連盟の中でも検討事項となってい

る。(福祉保健・子育て支援課)

小中学校図書整備事業について

各学校間の充足率のアンバランスの状況は。

小学校で最小43・4%、最大109・6%である。中学校で最小46・4%、最大106・8%である。今回の整備事業については各学校のバランスを考慮し、充足率の低い学校の冊数を増やす計画である。

(教委・教育総務課)

学校給食センター関連について

中学校給食配膳室整備の全体状況は。

平成22年から平成24年の3カ年計画で進めている。平成22年度には成和、六人部、川口の各中学校の整備工事が完了し、平成23年度は南陵、日新の整備工事及び桃映の実施設設計の予算化をしている。平成24年度は桃映の整備工事を予定している。

平成25年完全給食化時ににおける給食費単価は。

すでに三和・夜久野・大江中学校では完全給食を実施して



おり、その単価は267円である。新たに旧市内の中学校で完全給食を実施する場合には、現行の給食費を継続する予定である。

**問** 給食費無料の自治体があるが、本市の考え方は。

**答** 学校給食法では、学校給食の運営にかかる経費以外は保護者負担と定めている。無料化するには一般財源から応分の支出をする必要があり、現在は考えていない。

(教委・教育総務課、学校給食センター)

### 市民と改革の会



荒川 浩司 議員

### 市長推薦を出す本意は

**問** 私の議員生活4期16年間の認識では、市長推薦を受けた議員は市長の言いなりの立場でしたが、松山市長の本意は。

**答** 推薦を受けても、私となればあいは困ると、11人の議員さんにも言った。しかし、市議会に

おいて合意形成がなされたら、その方向に付いて来て下さい。

(市長公室)

### 本市焼却炉建設の談合裁判の控訴について

**問** この裁判は平成18年に私と松山市長が原告となり、福知山市に「三菱重工工業に対し損害賠償請求せよ」との裁判を起しました。平成20年の公正取引委員会の審決取消訴訟で東京高裁の棄却判決を受けて、福知山市は三菱重工工業に対し、損害賠償請求訴訟を起しました。今年5月に京都地裁で本市が敗訴し、その後高裁へ控訴されたが、敗訴の要因と弁護士の変更は。

**答** 談合5社以外のアウトサイダーと呼ばれる1社が、談合に協力したと認められる証拠がなく、自由競争であったとされてしまった。弁護士は変えない。

(財務・管財契約課)

### 本市土地開発公社経営検討会議の理事について

**問** 今年の4月から、本市の土地開発公社の理事に就任された弁護士W氏は、土地開発公社経営検討会議の委員としても就

任された。しかし、このW氏は本市の有力企業のT実業の顧問弁護士であり、その企業役員の親戚でもあるが、問題はないのか。また、この件については納得のいく対応をお願いしたい。市長は、この件は知らないと言っているが、藤田副市長はどうか。

**答** 私が依頼をした段階においては、T実業の顧問弁護士とは知らなかった。ただ、その企業の親戚であることは知っており、それとこれとは別な問題であり推薦をした。

(財務・財政課)

### 不可解な契約について

**問** 国道9号線沿いの南陵中学校西側に、書店ができているが業者決定前の土地利用事業選定委員会の議事録に「業者はリーブクさんですが、〇〇文進堂との関係が深いと思われるが、市民病院や武道館の問題は大丈夫か」との質問に、リーブク側も土地開発公社の塩見室長も「関係ない」との答弁であった。しかし、その後の契約書の13条には「賃貸を第三者に貸付することができ」と記載されており、実際の店名は〇〇文進堂の名前でオープンされたが、なぜか。

**答** 13条の建物の賃貸は、コーナンの場合を参考に盛り込んだ。

(土木建設・用地販売促進室)

### 市民と改革の会



高橋 正樹 議員

### 職員数削減と議員定数削減の効果について

**問** 前年度末時点における職員数削減目標と実績、及び議員定数削減による効果は。

**答** 5年間で70人の削減を目標としてきたが、目標を上回る99人の削減となった。なお、議員1人当たりの人件費は700万円であり6人減で4200万円の削減になる。

(総務・職員課)

**問** 市職員が身を置いていて財政削減に取り組まれているのに比べ、議員定数のさらなる削減が財政支出削減の観点からも必要では。

**答** あくまで議会側の問題であり言及する立場にないが、市民の関心が高い事項と認識してい



慮すると整備の手法観点からも事業費の削減、事業効果の早期実現ができると考える。今の時代の変化、事業効果をにらみ合わずとルート変更が妥当と考えられている。事業の用途は、地元の合意が基本であり、それに沿うよう努める。(土木建設 都市計画課 都市整備課)

**台風2号による茶畑被害について**

**問** 興・土地区の茶が近年全国会長賞を受賞、福知山市が産地賞を受賞し貢献している。村おこしブランド生産を称賛しているなか、今回の水害で大被害を被った産業に対して補償はあるのか。

**答** 興・土地区は市全域の茶園面積の75%を占めている。市全域の茶園60%が冠水により商品として販売できない状況となった。被害額は推定で約3800万円。お茶は市の重要品目と位置づけているので現在、京都府をはじめ農業改良普及センター、JAと連携を取りながら対策について調整を行っている。

(農林商工・農業振興課)

**本庁駐車場西出口について**

**問** 西出口(惺明小学校側)を右折禁止にした経緯は。100人の市民からのアンケート調査の結果、右折可能希望者が87人だった。この市民の声を真摯に受け止め何らかの対処を図りたい。

**答** 中央分離帯は、京都府公安委員会との協議により設置したもので、小学校児童の安全確保を最優先し、右折禁止の規制措置となった。

(土木建設 都市計画課)

**無 会 派**



桐村 一彦 議員

**有害鳥獣対策について**

**問** 有害鳥獣防除施設設置事業の状況は。

**答** 昨年度までに侵入防止柵789kmを実施した。今年度も40kmを予定している。

**問** 実施されている駆除対策とその実績は。

**答** 平成22年度は駆除と捕獲で

鹿2862頭、猪1597頭となつている。(農林商工・林業振興課)

**財政健全化対策について**

**問** 東日本大震災の関連による交付金などの減収予想と対応、ならびに市税減収予想は。

**答** 不透明であるが厳しい状況が予想されると考える。歳出の抑制や財政調整基金の活用などで対応する。市税減収は直近では影響はない。

**問** 市の借金である市債発行の考え方は。

**答** 大型事業や災害復興対応を発行の原則として、持続可能な財政構造を目指し、交付税措置算入のある有利な市債発行にて実施していく。

**問** 市債予算、公債費予算を見ると借金返済のための借金をしているように見えるが。

**答** 財政見直しを行いながら、市債残高の減少に努力する。合併特例債を利用するため平成28年度までは市債発行残高はピークとなるが平成29年度以降は減少していく計画である。

(財務・財政課 税務課)

**消防団の充実強化について**

**問** 消防団員の減少について実情と対応策は。

**答** 全国的には昭和29年の200万人から平成元年には100万人、平成21年には89万人を割り込み、福知山でも条例定数2160人のところ現在1965人の状況。消防団は、即時対応力、対応動員力、地域密着性という、なくてはならない重要な組織であり、自治会や各事業所に対して入団協力と理解啓発の活動を実施している。

**問** 女性団員については。

**答** 平成13年10月に「ふくちやまファイヤーエンジェルズ」を30名で組織。一般団員としては、大江地域の分団で1名の女性団員が入団し、消防団活動に積極的に取り組んでいる。

**問** 支所消防隊について。

**答** 団員の就業形態の変化により、昼間の出勤対応をカバーするために消防団員である支所職員で編成し、初期消火活動・後方支援活動を行う。出勤実績は三和支所8件、夜久野支所0件、大江支所1件。

**問** 機能別消防団員について。

**答** 消防職員OBや消防団員OBにて組織し、初期消火活動や避難誘導などに特化した活動をする。(消防本部)



「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の「凍結」を求める決議

福知山駅北口に建設が計画されている「(仮称)市民交流プラザふくちやま」は、前市長の時に「(仮称)北近畿の都センター」として計画されたものであるが、3年前の市長選挙で現市長が「凍結・見直し」を訴え、この公約が支持され、建設の是非も含めて再検討されてきた。

その結果、本年3月の議会で当初の6階建てから4階建てに計画を縮小し、設計費として7,710万円が提案され、議決されたという経過がある。

しかし、去る4月24日の市議会議員選挙では、新聞社のアンケートで、立候補者に駅前拠点建設計画についての賛否が尋ねられ、多くの市民が関心を高める中、新議員26人のうち15人が建設反対を表明し、当選した。

「(仮称)市民交流プラザふくちやま」は土地の取得に16億円余りを要し、今後さらに建設費として28億円余りが見込まれている。

このアンケート結果からは、多くの市民が巨額の事業費を必要とするこの建物の建設の「再凍結・再見直し」を望んでいると考えられる。

また、建設についてのパブリックコメントでも「建設反対・中止」の意見が多かったと聞いており、建設を検討した「(仮称)北近畿の都センター市民検討会議」では、財政問題は議論の対象とされていない。

さらに、昨年発覚した福知山市土地開発公社の簿価粉飾による、この建物の用地取得に係る「不透明さ」や、経済状況及び財政の見直しにおいても、東日本大震災の影響も含め、税収の落ち込みなど一層の悪化が心配される。

よって本市議会は、こうした現状を踏まえ、図書館の充実は別途検討することとし、現段階では「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設を「凍結」するよう強く求める。

以上、決議する。

平成23年6月28日

福知山市議会

6月定例会市議会では、市民の関心の高い事柄である、「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の「凍結」を求める決議が賛成多数で可決されました。

決議とは、議会が行う意思形成行為で、議員が発案して本会議にはかり、

議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことです。議決は、「問題」に対する議員個々の賛成、反対の意思表明である表決の集約です。そして、多数決の原理にしが、過半数の賛成の意思表明で、議会の意志として定めます。このような議会の意思決定が「議決」であり、議会の持つ権限のなかで、最も本質的基本的なものです。

由良川改修促進特別委員会活動報告

【活動記録】

福知山にとって由良川は、母なる川であるとともに、一方で度々の洪水と氾濫で水害に見舞われてきました。

そんな中、昭和22年に国直轄事業で築堤工事に着手以来、由良川水系河川整備計画」に基づき整備を、また、平成16年の台風23号の被害を受けて、「由良川下流部緊急水防対策」として、河川整備の推進をしていただいているところですが、一段の促進を求めています。

また、流域の綾部市・舞鶴市とともに由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会を組織し、要望活動を推進しているところです。

6月6日 由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会(国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所)  
7月1日 由良川改修促進特別委員会

由良川流域の現地視察の後、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所平成23年度事業計画概要の説明を受けました。



7月1日 由良川改修促進特別委員会(現地視察)



昭和28年9月(台風13号)福知山市内

7月11日 由良川改修促進特別委員会要望活動(京都・大阪)  
京都府及び国土交通省近畿地方整備局へ委員全員で出向き、由良川改修促進に関する要望書を提出しました。

8月23日(予定) 24日(予定)  
由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会要望活動(大阪・東京)  
(国土交通省近畿地方整備局・国土交通省、財務省、国会関係)

平成16年10月(台風23号)大江町内



## 6 月定例市議会常任委員会の審査報告

### 総務委員会

当委員会に付託された議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)「他4議案を、全員で慎重に審査を行った。

議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)、「議第10号、京都地方税機構規約変更については、法人関係税課事務共同化にともなう本市職員の仕事量への影響と、構成団体と税機構が行う業務内容等を問う質疑があった。本市税務課の最も業務量の多い申告書を発送する業務と、受け付けた申告書をデータ入力する業務が、地方税機構に移行するため、業務量は削減される。また、法人関係税課事務共同化の業務内容は、機構が事務作業、構成団体が意思決定を担うとの答弁であった。

議第6号、工事請負契約の締結については、落札請負額、最低制限価格の差が約30万円しかないが、入札しなおしたのか、また、最低制限価格は変えたかなどを問う質疑があった。一回目の入札では、各社最低制限価格未滿で失格となったため一社を加えて再入札した。再入札においては、各入札参加者間の力量が拮抗しており、競争の結果、落札額との差が少なくなった。最低制限価格は変えていないとの答弁であった。

議第7号、土地の取得については、福知山市土地開発公社の簿価が正しいか、用地取得後、公社になぜ工事をさせたかを問う質疑があった。公社より、簿価の変な操作はしていないと聞いており、平成23年度からは、事業の透明性を明らかにするため、市で工事を受け持つことにしたとの答弁であった。委員からは、少しでも利便性の高い施設をとの意見があった。6月23日には、現地視察を行うことを申し合わせた。

以上の経過で質疑を終了し、討論を経て採決を行った結果、当委員会では議第5号、議第10号が賛成多数、議第6号、議第7号が全員賛成で原案のとおり可決承認された。

### 市民厚生委員会

本定例会において、市民厚生委員会に付託された議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)「ほか2議案と報第2号」その他の債権放棄について「他2件の報告事項を、6月21日に委員会を開催し、全員で慎重に議案審査及び報告を受けた。

議第9号、損害賠償の額について「に関して、事故直後の生活交通課の交通安全に対する取組みを問う質疑があり、運転に不慣れな職員に対して時間外に駐車練習を行った、との答弁があった。

議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)「の、働く世代への大腸がん検診推進事業」について、受診者を対象者の20%とした見込み以上に増やす方策と、この見込みを超えた場合に国庫補助金が増額されるかを問う質疑があった。「広報ふくちやま」や健康教室などでPRに努めたい。また、20%の見込みを超えても国庫補助金の上乗せはない、との答弁があった。

議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)「の質疑を終え、副委員長と委員長職を交代し、私から修正案を提案した。修正案の内容は、介護基盤緊急整備特別対策事業「で戸田地区に建設が予定されている、認知症高齢者グループホーム」と、小規模ケアハウス「の水害に対する安全性を問題とし、もう一度審議する必要があるとの趣旨で、この施設にかかる補助金を減額修正するもの。提案理由を説明、質疑、討論を経て、判決の結果、この修正案は賛成少数で否決された。ここで改めて委員長職を交代し、付託された議案について討論、判決を行った結果、議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)は賛成多数で、議第8号、議第9号、損害賠償の額について」の2議案は、全員賛成で原案のとおり可決と承認された。

### 文教建設委員会

当委員会に付託された議第5号、平成23年度福知山市一般会計補正予算(第1号)「を慎重に審査を行った。

土木建設部所管では、耐震工事の費用は1件でどのくらいか、との質疑があり、耐震改修だけで500万円程度の場合や、100万円、150万円程度で済む場合など、一概には言えない、との答弁であった。また、耐震診断の推進を図る取組について問う質疑に対し、6月13日から15件、耐震診断の募集をしていたが、既に14件の申し込みがある。問い合わせが多数あるので、対応を検討したい、との答弁があった。

次に、教育委員会所管では、精華小学校グラウンド埋設排水路改修工事について、学校統廃合の関係で、この学校が使われなくなるかもしれないが、現在はずもたちがいるので改修は必要だと思いが、統廃合以降も有効活用を考慮しての改修なのか、と問う質疑があり、地域の方々が社会体育等でも利用されており、安全・安心を確保していくのは、先決であると思っている、との答弁があった。また、平成23年1月と3月にグラウンドに穴が開いたが、授業に差し障りがなかったか、即座に直す必要があったかと思いが、と問う質疑に対し、危険防止を図る意味で、この2カ所以外でも、いつ陥没するかわからない恐れがあり、安全対策を十分図っていくため、使用の制約をし、大変ご迷惑をかけた。早期に着工を考えたが、夏休み期間中に実施することとし、今回提案させていただいた、との答弁があった。

以上の経過で審査を終了し、討論を経て、採決の結果付託された議案は全員賛成で原案可決された。



議会日誌

6月・7月



【6月】

- 1日 議会運営委員会
- 2日 京都市議会議長会
- 6日 由良川沿川市議会関係委員会  
正副委員長会
- 8日 6月定例会市議会本会議、各派  
幹事会、常任委員長協議会、  
議会だより編集委員会、文教  
建設委員協議会

- 15日 全国市議会議長会定期総会
- 16日 6月定例会市議会本会議
- 17日 6月定例会市議会本会議
- 20日 6月定例会市議会本会議、各派  
幹事会、議会運営委員会
- 21日 総務・市民厚生・文教建設委  
員会、総務・市民厚生・経  
済・文教建設委員協議会
- 23日 総務委員協議会
- 27日 常任委員長協議会
- 28日 6月定例会市議会本会議、議会  
運営委員会、総務・市民厚  
生・文教建設委員協議会、全  
議員協議会、議会運営委員協  
議会、各派幹事会、議会だよ  
り編集委員会
- 30日 総務委員会行政視察

【7月】

- 1日 由良川改修促進特別委員会、  
長野県富士見町議会行政視察

- 4日 来市  
文教建設委員協議会管内視察
- 7日 議長・総務委員会正副委員  
長・議会運営委員会委員長行  
政視察

- 11日 由良川改修促進特別委員会要  
望活動
- 13日 総務委員協議会、議会だより  
編集委員会
- 14日 文教建設委員協議会、議会運  
営委員協議会
- 15日 京都府北部五市議会連絡協  
議会
- 21日 総務委員協議会
- 22日 議会だより編集委員会
- 25日 各派幹事会
- 28日 総務委員協議会

9月定例会市議会の予定 (24日間)

- 9月7日(水) 招集予定、本会議 (提案理由説明)
- 15日(木) 本会議(質疑、一般質問)
- 16日(金) 本会議(一般質問)
- 20日(火) 本会議(一般質問)
- 21日(水) 各常任委員会
- 22日(木) 各常任委員会
- 29日(木) 本会議(採決)
- 30日(金) 会期

\*この議会予定は、今後変更する  
場合があります。

9月定例会本会議を  
傍聴してみませんか

本会議の傍聴は、市役所本庁舎6階の傍聴受付  
で「傍聴者名簿」に氏名・住所等を記載し、傍聴  
規則を守って、傍聴席(定員60名)において傍  
聴できます。なお、団体で傍聴を希望される場合  
は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

日程や時間は変更することがありますので市  
議会事務局に問い合わせください。

市議会事務局 ☎ 0773-24-7031

福知山市議会ホームページへの  
アクセスは検索画面で



福知山市議会

検索

を入力してクリック!

<http://fukuchiyama-shigikai.jp/>

市議会ホームページでは、議員紹介、議決結果、  
定例会日程、市議会の概要などが確認できます。ま  
た、会議録の閲覧・検索、議会中継や録画放映を見  
ることができます。

編集後記

6月の定例会市議会が無事に終了  
いたしました。

本年4月の福知山市市議会議員選  
挙におきまして、厳しい選挙を戦い、  
市民の負託をつけた新しい議員によ  
る福知山市議会がスタートいたしま  
した。(議員26名中、新人議員13名)  
それぞれの議員が気持ちを新たに、  
緊張感を持ちながら、21名の議員に  
よる一般質問が行われました。

議会傍聴を希望された市民も多く、  
議員・議会に対する関心の深さを感じ  
るスタートになりました。

紙面の都合によりまして、詳細な  
記載は出来ませんが、一般質問に登  
壇したそれぞれの議員の思いを、こ  
の議会だよりからお受け取りいただ  
きたいと思っております。

議会と議員の活動などをわかりや  
すく市民のみなさまにお伝えでき  
るように編集に努めてまいります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げ  
ます。

